

望岳山荘



中嶋 嶺雄

象潟や雨に西施が合歡の花
松尾芭蕉が奥の細道を辿
って出羽の国、今日の秋田
県最南部・象潟に来て詠ん
だ名句であり、古刹の
蛸満寺にはその句碑があ
る。当時の象潟は、大小無
数の島が海に浮かび、松島
にも負けない豊勝地で、芭
蕉が奥の細道を辿ろうとし
たのは、象潟を見たかった

からたこの説もあるほどで
ある。台湾の李登輝前総統
は、もしも来日か適えば、
静かに奥の細道を辿ってみ
たい、ぜひ象潟まで来て、
芭蕉の心を抱くくしてみた
いという思いを抱かれてい
る。司馬遼太郎が「街道を
行く」の旅で秋田に来て、
空港から真っ先に訪れたの
も、象潟であった。

これはと歴史的かつ文化
的な由緒があるのに、その
「象潟」の町名が消えよう
としていた。最近流行の町
村合併という妖怪の餌食に
されるどころだったのでは
ある。象潟町が近隣の仁賀保
町、金浦町との合併協議を
離脱して「象潟」という歴
史的地名を守ったのは、金
蔵(ごん・いわお)前町長
の識見によるところが大き

かったが、行政サイドの秋
田県庁のお役人からは、白
い眼で見られていた。
私が全国初の公立大学法
人・国際教養大学の理事長
兼学長として秋田県に来て
から、半年が過ぎた。すべ
ての授業を英語でおこなう
など、これまでの日本の大

愛知県議会の超党派の視察
団約二十名が来校した。
そのような折に私は、時
間があったらぜひ角館へ行
って下さい、とお勧めする
ことにしている。東北の小
京都として知られる角館町
は、今に残る武家屋敷の町
並みや枝垂桜、それに

念だ。町村合併には、財政
上の問題だけでなく、歴史
や文化の視点が欠けてはな
らないからである。
もとより、地方交付税の
減少とともに地方自治体の
財政はきわめて厳しくなる
だけに、行政のスリム化・
効率化のためにも、市町村
合併は避けられない流れで
あろう。ましてや来年三月
末を期限にして財政上の優
遇措置がついた市町村合併
特例法を活用できるという
行政上の特典があってみれ
ば、多くの市町村が合併を
急ぐのも理解できる。だ
が、これからは本場の意味
での「地方の時代」になら
なければ、日本全体が沈没
しかねないグローバル化の
時代なのでもある。そのよ
うな時代には、それぞれの

行政と歴史文化のはざま

地方が固有の歴史と文化に
根づいたアイデンティティ
を自覚し深めることによっ
て、単なるお国自慢の域を
脱した、世界に通ずる特色
を持つことが必要になる。
長野県では、島崎藤村ゆ
かりの木曾の馬籠宿をもつ
山口村が中津川市に越境合
併する問題をめぐって、論
議が起きているという。民
主主義の時代にはそこに住
む人々の民意が尊重されな
ければならないが、同時に
また、歴史によって培われ
てきた文化価値はその地に
生きる人々の時空を超え
て、広く県民全体の、さら
には国民全体の公共財なの
だという観点も忘れてはな
らないであろう。

(国際教養大学学長 松本 市出身)